高校の探究の時間でSDGsに取り組むにはどうすれば良いか考える 勉強会

2021 8 25 千葉県立小金高等学校 総合学科部長・キャリアカウンセラー 椿 仁三千



本日のお話し「探究学習」について

学習指導要領の改訂により、

高等学校の「総合的な学習の時間」が2022年度から「総合的な探究の時間」に変わります。

特に地域の課題解決型学習(PBL)は、 地方創生ブームを追い風もあり、 多くの高校ですでに取り組まれて います。



探究学習の目的

自分で問題を発見し 知識を問題解決にどう活かすか? 自分の学びにどう生かすか? どう発信するか?

本日のお話し「探究学習」について

いわゆるアクティブラーニング

「主体的で、対話的で、深い学び」探究学習の「発散」と「収束」

特に大切だとおもっていること

「発散」

様々な視点がら物事を 見る力、習慣、知識

やらされる勉強から 「やりたいこと」のための勉強へ

- *生徒たちは自ら課題を設定してリサーチを進めていく。
- *誰かに与えられたことをただ消化するような勉強にはならない
- *自分の「やりたいこと」が真ん中にあるので、この勉強が苦になっている様子はない
- *生徒たちの話を聞くと探究することは 「おもしろい」「楽しい」といった声が多かった。



- *このような研究テーマは方向性の合った大学・学部に進学 入学後も一貫して続けることができる。
- *これは偏差値による大学選びではない本来的な意味での 進路選択を推進

しかし

- *誰もが始めから「やりたいこと」を持っているわけではない
- *テーマを決めるのに苦労する

授業運営はどうすれば良いのか

教員はアドバイザー、コーディネーターであるべき 教師は指導したいを我慢

• 知識を与える立場ではなく、研究の伴走者に徹する。

知識を押し付ければ、 研究の個性が失われることにもなりかねない。 しかし、独りよがりの研究でも意味がない。





問題設定 リサーチクエスチョン

①の課題設定がもっとも重要です。課題はすなわち活動の取り組むモチベーションに直結します。

地域活動に参加をしたり、早い段階で外部と接触したり、フィールドワークを行ったり、外に出る活動を。

いくら教室で情報をインプットし、 「この地域の課題って何だと思う?」と問いかけたところで、 机上の空論にしかなりません。

でもこれが難しいんです

探究学習は普段の授業から

• 実際には「総合的な探究の時間」だけで全てをカバーすることは 不可能です。他教科で補完するしかありません

- 統計データ→数学
- 文献の読み方や文章の書き方→国語
- 歴史や地理に基づく地域産業の見方→社会科
- •議論に十分な時間が割けず、かといって放っておくと何時間あっても進まない、という状況も目の当たりにしてきました。
- 探究的な学びは普段の授業から

「カリキュラム・マネジメント」

これが本来の「カリキュラム・マネジメント」だと思うんです

学校の「育てたい生徒像」が前提になります。

先生の言うことだけを鵜呑みにしては 「自由な発想で」と言われても意見は出ません。



自由度の高い探究の場での姿が、社会に出てからの生徒たちの姿になるのではないでしょうか。

実はこれが大学選びにつながるどの視点から世の中を眺めるか

栄養学

子供を支えたい

経済学

福祉

 \longrightarrow

経営学

教育

 \rightarrow

__ 理工

医療



保育

生活の中で見つけたもの

ニュースや新聞で気になったこと これが出発点





自分とテーマとの距離感

近すぎても、遠すぎても

小金高校の探究学習 SDGs × 地域地元 グッとジブンゴト化

世界を変えるための17の目標







































× 小金高校

ミライガク



SUSTAINABLE GOALS

世界を変えるための17の目標





































ではここで 高校生の課題研究事例1

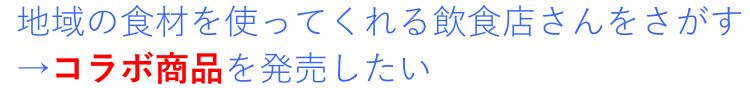
SDGsに関連した街おこしを企画

- ・地域の特産を生かすことにより同世代に もっと地域や環境に関心を 持ってほしい
- ・SDGsが身近であることを知って 欲しい
- ・便利と保全を両立したい



プロジェクト実施計画

人脈を広げ、信頼を得て行動範囲を広げる →**市役所 総合政策推進課** に協力いただく 農家さんの紹介(**あじさいネギ、新松戸レモン**)



校内でも限定販売 →消費してもらうことで 環境問題の認知と地域貢献につなげたい

私たちの活動を発信するフリーペーパーを製作



地元の新松戸レモンとコラボ決定!

- ・完全無農薬、ワックス不使用
 - →皮まで食べられる
- ・果汁に甘み
 - →他のレモンとの差別化
- ・地産地消
 - →輸送コストの削減





松戸本土寺あじさい寺で有名





「あじさいねぎ」の 名前はそこから命名

本土寺参道で お土産物屋をしなら 「あじさいる 作っている

両者のニーズが一致

サフラン新松戸店(パン屋さん) 「地元の食材を使いたいと思っていた」

- ・従来メニューで業者から買っていたねぎを あじさいねぎに変更
- ・新松戸レモンを使ったパンやスイーツの 販売

農家さん、飲食店の両方の困ったを解消









学んだこと

- ・事業者と一緒に活動することで大人として関わる責任を学んだ
- ・様々な場面で発表したり、活動を伝えたりしたことで まとめて話す力がついた
- ・同年代や事業者の話から新たな視点を得たり、社会人**の視点**で 物事を考えられたりするようになった
- ・学生という立場によって生まれる付加価値があると知った
- ・高校生という立場だったが人脈を広げたり、失敗を繰り返す ことで大きなプロジェクトを実現できた





高校生の課題研究事例 2

ヘアドネーションの存在を広めて 子どもたちを支えたいというアクション



最初はポスターで発信 を考えていた YouTubeに詳しい友人と 情報をシャア →YouTubeで 限定公開 小中の道徳、SDGsで 活用を希望

彼女なりの発散

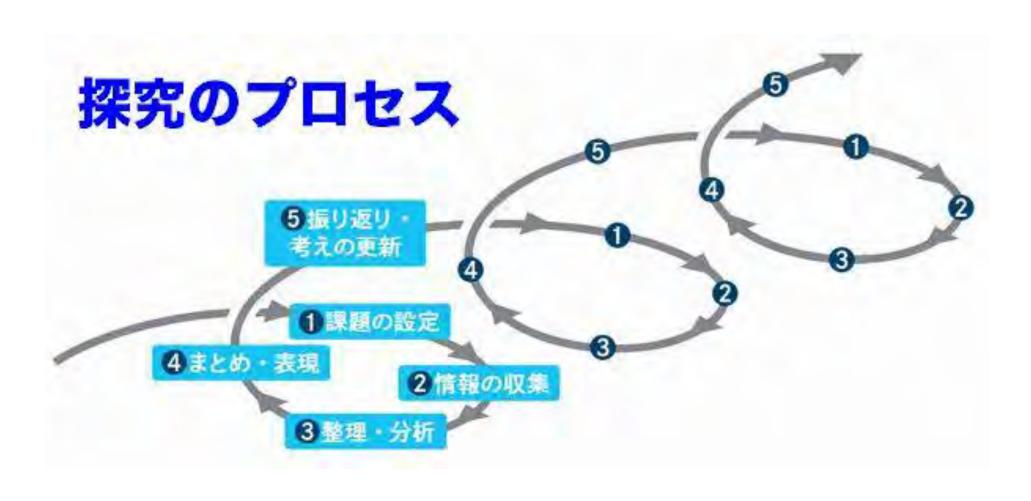
高校生の課題研究事例3

子供にかかわることをしたい 子ども食堂と地域のカフェを繋ぐアクション



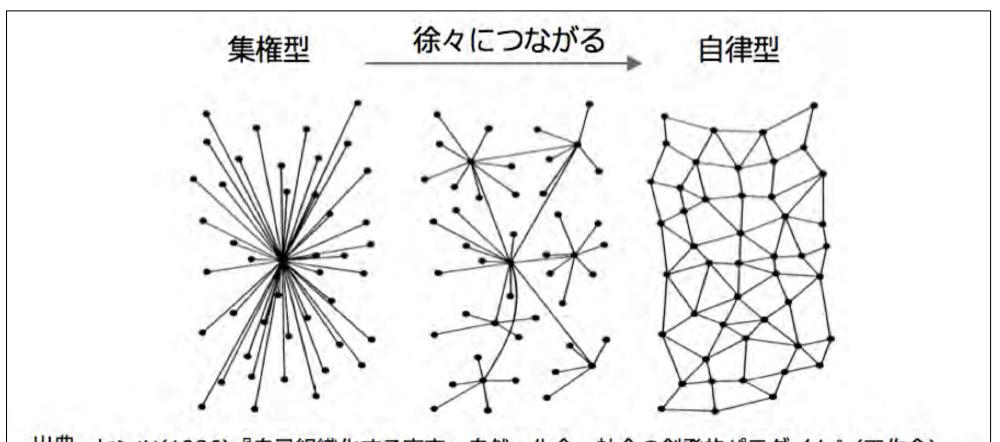


本当に探究のプロセスはこれですか?



関係性の社会へ

思考のパラダイム



出典 ヤンツ(1986)『自己組織化する宇宙―自然・生命・社会の創発的パラダイム』(工作舎) カウフマン(2008)『自己組織化と進化の論理―宇宙を貫く複雑系の法則』(ちくま学芸文庫)

情報収集フェイズ

取り組むテーマを決めよう

問:興味関心のあるテーマ

「気になる言葉」「キーワード」は?

テーマに関する情報を収集しよう

問:テーマを分析

どんなことがニュース、話題になっているか?

インターネット、本

問題解決を設定しよう~誰の「困った」を解決するか

問:だれがどのように困っているか

自分はだれの「困った」を解決したいか

基礎研究か? 問題解決か?

分析フェイズ

原因分析をしよう

問:困ったが起きているのはなぜ?

 \rightarrow ロジカルシンキング \rightarrow ロジックツリーなどを活用 先行事例を研究

問:すでに課題解決に取り組んでいる人はだれ?

→ 取材、インターネットで統計データその成果と課題は? 文献の検索、関連書籍、論文検索**先行事例の分析**、メリット、デメリット

仮説構築フェイズ

アイデアを考える、広げる~アイデアをなるべくたくさん出す

例えば①ブレーンストーミング

批判厳禁:基本的に「それいいね」

自由奔放:とにかく自由に考える

質より量:たくさん出す

便乗歓迎:くっつけたり相乗りしたり

便乗したり

- ②マンダラート
- ③フィッシュボーン
- 4その他

仮説構築フェイズ

解決のアイデア

アイデアを発散する(より多く出す) 選択する(収束する)

問:まずアイデアをたくさんだしてみよう

最初から制約条件があると幅が狭くなります。

多様化させることが大切です

問:アイデアをまとめよう(収束させる)

取捨選択は「最も喜ばれる、効果あるアイデアだろうか?」

検証のフェイズ

サプライチェーンを考えてみよう

間:実現するためにはどのような手順が必要か?

材料→製造、加工→物流→販売(だれが、どこで、どのように) マーケティングリサーチ

問:それは本当にほしい(知りたい)と思えるだろうか?

アンケート調査 目的、対象を明確にする、質問項目を精査、 答えやすさを考慮

インタビュー 何を知るためにやるのか、質問内容を事前に 整理、

フリップボード 聞きたいこと、二択など答えやすいもの、 シールなど集計し易い

アウトプットフェイズ

アウトプットフェイズ

ポスターなどを作成

問:わかりやすいポスターは? 情報を精査 問題定義→アイデア、プラン→検証結果→成果

プレゼンテーション

問:相手だの心をつかむ、わかりやすいスピーチは? メッセージは簡潔に明確に メッセージを裏付ける証拠で説得力を高める 思いや気持ちをこめる。

生徒の「探究学習」を進めるには、 先生の「探究学習」も必要

- 教員はアドバイザー、コーディネーターであるべき 教師は指導したいを我慢
- 知識を与える立場ではなく、研究の伴走者に徹する。
- 知識を押し付ければ、 研究の個性が失われることにもなりかねない。 しかし、独りよがりの研究でも意味がない。

教え込みでない、今までとは違った指導が必要



高校生ですから、不慣れなこと、できないことは たくさんあります。

しかし、それを限界と諦めず、どんな手順、環境、 関わり方であれば主体的に取り組めるのか、試行 錯誤を続けたとき、探究学習での学びの

価値が見出せると思います。



探究学習の本質!?

- 私たちは日頃からどうしても安全策を重視した生き方を選んでしまう。それは失敗した時のリスクを過剰に恐れてしまうから。そのリスクには当然ながら「周囲の評価」も含まれる。
- 「どんな結果を出したか」も大事だが
- 「結果を出すためにどう歩んできたか」のプロセス、 過程をもっと評価
- そうなれば、失敗を恐れず果敢にチャレンジする人が増え、 もっと社会が活性化できる。
- 結果よりプロセスを大切にする

「何をやったか」ではなく、 「そこから何を学んだか」が大事、プレゼンテーションが 最終ゴール? なんて事態は避けたいです!!

大学生顔負けの研究活動でなくてもいい 高校生として 年齢に応じた探究的な学びの発達

探究的な思考の習得 問題設定能力の育成 何をまなんだかというプロセス 多方面から物事を見ることができる力(発散)



課題研究探究学習



周りの人のためになる 自分の学びが社会と どうつながるか

本日一番お話したかったこと

「発散」「探究プロセス」

ゴールに到達する最短の方法でなく ゴールに進むたくさんのプロセスを見つける力 未来にワクワクできるか?!





本日はありがとうございました

2021 8 25 千葉県立小金高等学校 総合学科部長・キャリアカウンセラー 椿 仁三千